

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個17事07

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7819
個別施策名	17 良好な港湾空間を維持・創出する				連携課	海務課、工事課、港湾工事事務所
事務事業名	07 港内の水底質のモニタリング	継続	維持	縮小	事業期間	昭和38年度～継続
目的	港内の水質・底質を調査し、港湾水域の環境の現況を把握します。				根拠法令等	港則法、水質汚濁防止法、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
概要	水域の水および水底土砂の調査を実施します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	委託調査として、港内底質調査を年間5回、直営調査として底層溶存酸素調査を年間12回実施を予定しています。				関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	委託調査として、港内底質調査を年間3回、直営調査として底層溶存酸素調査を年間12回実施しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	0	8,484	7,116	1,575	(款項目節) 企画調整費/調査費/環境保全費/需要費/消耗品費
一般会計	千円	0	0	8,484	7,116	1,575	マルチ水質モニタリングシステム等にかかる消耗品 企画調整費/調査費/環境保全費/役務費/手数料 港内底質調査
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	21,487	21,026	6,022	2,845	1,569	(算出計算式) (その他)
正規職員	人	2.45	2.45	0.71	0.33	0.18	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	21,487	21,026	14,506	9,961	3,144	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
調査回数(回)	目標	53	53	39	38	17	-	測定計画等に定められている調査回数(公共用水域水質調査は、24年度から愛知県・名古屋市が実施)
	実績	53	51	39	36	15		
	達成率(単年度%)	100.0	96.2	100.0	94.7	88.2		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
測定計画等に基づく調査の履行率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	実際に行った調査回数÷測定計画等に定められている調査回数 24年度は、予定していた年5回の港内底質調査内2回は実施せず
	実績	100	96.2	100	94.7	88.2		
	達成率(単年度%)	100.0	96.2	100.0	94.7	88.2		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						名古屋港内の水質の状況については、市民の関心が高くなっています。港内底質調査は、港長への港湾工事作業許可申請時に必要です。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						良好な港湾空間を維持・創出することに貢献しています。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						マルチ水質モニタリングシステムを使用した水質調査は、直営で効率的に実施しています。
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			公共用水域水質調査は24年度より愛知県・名古屋市へ移行したが、底層溶存酸素調査及び工事に係る底質調査は、引き続き行う必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
底層溶存酸素調査は直営で実施し、港湾水域の環境の現況を把握します。また、必要に応じて、工事予定箇所の港内底質調査(港長許可申請用)を実施します。				